



群馬銀行グループのあゆみ

群馬銀行の源流は、1878年(明治11年)の「第三十九国立銀行」の設立まで遡ります。第三十九国立銀行は、1898年(明治31年)に三十九銀行となるなど、形態や名称を変えながら、群馬県内最大の銀行として、繊維産業を中心とする県内企業への資金供給を行っていました。昭和初期、県内の銀行は、前橋の群馬銀行(第2次)、高崎の上州銀行、渋川の上毛銀行を中心とした3つの銀行圏に分かれていました。国が金融機能の安定化を目的

に1県1行主義を打ち出すなか、1932年(昭和7年)に群馬県は自ら出資し、群馬県金融株式会社を設立、同社が群馬銀行(第2次)・上州銀行と合併し、名称を「群馬大同銀行」としました。なお、当行はこの合併を決定した株主総会の開催日(11月20日)を当行の創立記念日としています。群馬大同銀行は、戦中・戦後の混乱期を乗り越え、1955年(昭和30年)に行名を「群馬銀行」に改称しました。



1932
群馬大同銀行創立

創立当時の群馬大同銀行本店

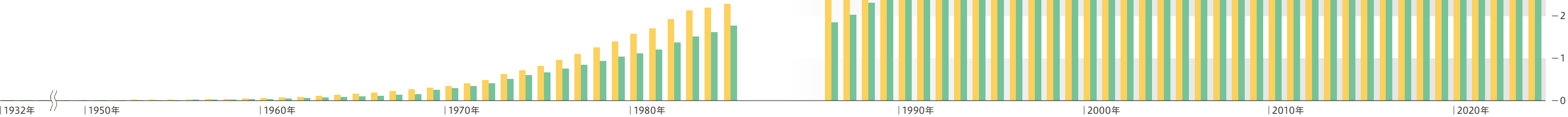
1955
株式会社群馬銀行に商号変更

1969
東京証券取引所に株式を上場

1972
現本店竣工

竣工時の現本店

1983
群馬経済研究所設立



グループ会社の
設立・出資

1971.02
群馬中央興業株式会社
物品等輸送、ATM保守管理

1973.10
ぐんぎんリース株式会社
リース業務

1982.03
株式会社群銀カード
クレジット業務

1983.09
群馬信用保証株式会社
ローン保証業務

1986.07
ぐんぎんシステムサービス株式会社
システム開発・販売業務

2016.02
ぐんぎん証券株式会社
証券業務

2016.07(資本参加)
スカイオーシャン・
アセットマネジメント株式会社
投資信託委託業務

2018.04
ぐんぎんコンサルティング株式会社
コンサルティング、人材ソリューション、
マーケティング・広告業務

2020.12
ぐんま地域共創
パートナーズ株式会社
ファンドの組成・運営

2020
地銀10行による広域連携「TSUBASA アライアンス」参加

2021
群馬銀行グループ「パーパス」制定
第四北越銀行との連携協定「群馬・第四北越アライアンス」締結

2022
足利銀行との連携協定「りようもう地域活性化パートナーシップ」締結

2023
ぐんぎんコンサルティング株式会社が新規事業を開始

2024
デビットカード「ぐんぎんデビット」の取扱いを開始

2019
「群馬銀行グループ
SDGs宣言」制定

2009
「群馬銀行環境方針」制定

1995
群馬銀行環境財団設立(現ぐんぎん財団)

1992
企業理念制定
シンボルマーク制定


パーパス公表の
記者会見にて


1 群馬銀行について

2 パーパスを実現するための戦略

3 パーパスの実現を支える経営基盤